

# 令和3年度 鹿島小学校 学校研究概要

## 1 研究主題

自ら問題を発見し、主体的に解決する児童の育成  
～ 主体的に探究する授業を通して ～

## 2 主題設定の理由

本校は、学力向上ロードマップを基に「確かな学力の育成」を目指し、分業・共有・PDCA サイクルの確立に向けた研究に取り組んできた。その結果、学力向上への組織的な取組が実施できるようになった。しかし、授業中には、教師の出過ぎにより、児童が自らが問題を発見し、解決するために主体的に取り組む力は、まだまだ不十分である。また、12月の県評価問題では、目指す達成率75%に達しておらず、特に「基礎・基本の定着」「条件に合わせて複数の資料を比較したり関連づけたりして考える力」「題意を捉えたり、問題場面を想像する力」が弱いことが分かった。

そこで、今年度は、児童の弱点を教科横断的に克服すべく、児童に付けたい資質・能力を「問題発見・解決能力」とした。未来社会を切り拓くための資質・能力の育成をめざし、これまでの成果のある取組を継続しつつ、単元を通して付けたい力を明確にし、教師が単元をデザインしていくことで児童の問題発見・解決能力を高めていくことにつながると考える。

## 3 研究の方針

### (1) 児童に付けたい資質能力とその定義

＜資質能力＞ **問題発見・解決能力**

＜定義＞

各教科等において、物事の中から問題を見だし、その問題を定義し解決の方向性を決定し、解決方法を探して計画を立て、結果を予測しながら実行し、振り返って次の問題発見・解決につなげていく過程を重視した深い学びの実現を図ることを通じて、各教科等のそれぞれの分野における問題の発見・解決に必要な力

(学習指導要領総則解説より抜粋)

### (2) 副題の定義

主体的に探究する授業とは・・・

自分達が今何について考え、何を知りたいと思っているのかを自分自身で探り、そのものの本質を見極めようと自分から行動する授業。

(3) 研究主題に迫るための研究の重点の内容

1 教育目標

未来社会を切り拓くための資質能力の育成  
～知・徳・体にわたる「生きる力」を育む～

2 教育方針

未来社会に必要な資質・能力を育むための学校づくりをめざす

3 めざす児童像

鹿島小がめざす学力、心、体力が身に付いた子

◇自ら学び      よく考える子      主体的に探究し、確かな学力を身に付ける

◇心豊かで      思いやりがある子      道徳的判断力に基づいて人と関わる

◇ねばり強く      たくましい子      チャレンジし続ける気力と体力

**【研究主題】 自ら問題を発見し、解決する児童の育成  
～主体的に探究する授業を通して～**



#### (4) 研究の重点

<b>問題発見・解決能力</b>		
<b>重点</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・問題発見・解決能力を育成する単元デザイン</li> <li>・見取りを生かした授業デザイン</li> <li>・基礎・基本の定着をはかる帯タイム</li> </ul>	
<b>授業研究</b>	<b>問題発見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・単元のゴールを共有し、児童と共に作成した単元計画</li> <li>・ゴール（単元・本時）の姿を想定した学習課題の設定</li> </ul>
	<b>問題解決</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・比較、分類、理由、関連（関係）の4つの思考スキルを活用</li> <li>・教科の見方・考え方を生かした揺さぶり発問</li> </ul>
	<b>次時に向けての問題発見</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キーワードを使ったまとめ・適用問題、活用問題の工夫</li> <li>・振り返りの充実</li> </ul>
<b>学びの土台 基礎基本</b>		
帯タイム	鹿島小5つのかまえ	学びを自覚する宿題
<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝昼セットで基礎基本の定着（朝自習で取り組み、チャレンジタイムで解説）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿島小5つの構え（学習規律）をばっちり勉強大作戦で徹底</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その日、その週の授業をまとめる思い出しノート（自学ノート）</li> </ul>

#### 4 研究体制及び組織の役割

研究を進めるにあたって、学力向上ロードマップに示したように組織を構成し、別業を基に、全職員で取り組む。

#### 5 研究の進め方

- ・研究科目は、教科横断的に資質能力を育むために、国語・算数・社会・理科・生活・自立活動・生活単元の7教科とする。（級外は、自分のもっている教科を研究科目とする。）
- ・研究授業（全体研を含む）は、年間6本は全体研として行う。その他は、低・中・高・特ごとにブロック研として行う。（全体研究授業（提案授業を含む）は、低・高学年ごと3本、年間6本とする。）
- ・前回の課題を明らかにした研究授業とする。

全体研究授業

##### 授業前

- ・全体で模擬授業を行う。
- ・並行学級は先行授業を行う。

##### 授業参観時

- ・研究の重点を参観の視点とし、授業参観を行う
- ・抽出児童のグループでの話し合いの様子を記録する。

##### 授業後（整理会）

- ・研究の重点にそって、抽出児童の授業中の様子やワークシートなどを基に課題を出し合う。
- ・次につなげるために課題を明確にする。

ブロック研

##### 授業前

- ・ブロック各に指導案検討会を行う。

##### 授業参観時

- ・研究の重点を参観の視点とし、授業参観を行う。

##### 授業後

- ・研究の重点にそって児童のワークシートなどを基にブロックで整理会を行う。
- ・授業のよかった点や改善点、課題等を朝礼や終礼などを利用し口頭で全体に紹介する。

#### 6 学力向上ロードマップ

\*別紙参照

#### 4 研究組織について

組織	チーフ(◎) サブ(○)	年始め	学期毎	日頃
授業研究部	<b>授業研究に関わる実践のアシスト 実践の取組の推進・確認</b>  ◎研究副主任(野田) ○(大島) 低(大島) 中(谷口) 高(岡本) 特(丹後) 外(野田)	<ul style="list-style-type: none"> <li>全体研究授業、ブロック研の日程調整 (岡本・野田)</li> <li>(低:大島)(中:谷口)(高:岡本)</li> <li>学習プロセス掲示物配布・確認(野田)</li> <li>まなボード等学習道具準備(丹後)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業チェックシート(野田)</li> <li>(低:大島)(中:谷口)</li> <li>(高:岡本)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業研究の連絡・整理会準備 (低:大島)</li> <li>(中:谷口)</li> <li>(高:岡本)</li> <li>ばっちりタイム等ブロックでの話し合い時での実践への取組推進・確認(全員)</li> </ul>
学びの土台部	<b>学びの土台に関する実践のアシスト 実践の取組の推進・確認</b>  ◎若プロ(三木) ○生徒指導主事(堀) 低(岩本・中村) 中(土谷・澤多) 高(三木・堀) 特(斎藤) 外(大西)	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭学習ガイドブック配布(岩本)</li> <li>自学ノートの説明(堀)</li> <li>鹿島小5つの構え説明配付(三木)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>勉強ばっちり大作戦表作成 配布・実施確認(大西・斎藤)</li> <li>帯タイム実施内容表の作成 配布・実施確認(中村)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>条件作文(堀)</li> <li>(低:中村)(中:土谷)</li> <li>(高:堀)</li> <li>ナカノトーーク(三木)</li> <li>(低:岩本)(中:澤多)</li> <li>(高:三木)</li> </ul>
調査評価部	<b>学力調査等の集計分析 学力向上プランに関わる集計・分析 改善プランの検証</b>  ◎教務主任(高木) ○(岩崎) 低(岩崎) 中(工藤) 高(堀口) 特(黒川) 外(高木)	調査毎  <ul style="list-style-type: none"> <li>各種調査採点・集計計画表作成推進(高木)</li> <li>各種調査データ処理 分析の推進(岩崎・工藤・堀口)</li> </ul>	学期末  <ul style="list-style-type: none"> <li>活用テスト・学期末テスト結果到達度による検証(岩崎・黒川)</li> <li>条件作文検証(堀口・工藤)</li> <li>児童教員アンケート質問紙調査分析・検証(黒川)</li> </ul>	